

2019年度事業計画書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人アフリカ日本協議会

1 2019年度事業の方針

2018年度の活動を引き継ぎ、本法人として定款で定めた目的を達成するため、広範な市民との協力関係のもと、必要な事業を行っていく。在日アフリカ人との連携・支援事業については、在日アフリカ人の講師を中心に「アフリカ人と共に生きる連続講座（4回連続）」を開催する。アフリカ熱帯林の課題に関しては、AJFが積極的に資金獲得を行うことにより、現地での野生生物保全および日本での啓発事業を進めていく。2019年の8月のTICADVII開催に向け、「市民ネットワーク for TICAD」の取り組みをバックアップし、アフリカに関わるNGOの連携と政策提言を強化する。保健分野については、アフリカの市民社会自身の保健向上・感染症克服などの取り組みと連携し、グローバルな保健政策や日本の保健分野支援に関わる政策環境の改善を図る。また、2019年10月に予定されているグローバルファンド（世界エイズ・結核・マalaria対策基金）の増資等に向け、アフリカの保健向上に向けた資源動員の拡大を図る。AJF25周年記念事業としてアフリカNOW25周年記念号を発行し、また記念シンポジウムの開催により、ネットワークの更なる拡大を目指す。

2 事業の実施に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 支出予算 |
|-------------|--|-------|
| アフリカ支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ アフリカにルーツを持つ子どもを対象とした「アフリカンキッズクラブ」を運営し、アフリカ文化に触れ、交流するイベントを開催する。また、他団体の企画やフェスティバルなどにも積極的に参加する。 ○ 在日アフリカ人コミュニティと交流・連携し、日本社会におけるアフリカ理解の促進、サポートや情報が必要な在日アフリカ人への支援を行うことを目的に「アフリカ人と共に生きる連続講座（4回連続）」を開催する。 ○ なんみんフォーラムに参加する他の難民支援団体と連携を取りながら、日本での生活に課題を抱える難民・難民申請者を支援する。 | 220万円 |
| ネットワーク形成事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際協力NGOの総合的なネットワークであるJANICや、国際保健NGOのネットワークであるGII/IDI・NGO連絡会等に参加し、他の参加NGOとともに、アフリカと日本の市民社会の連携・協力の強化、国際保健課題およびアフリカの抱える課題の解決に必要な取り組みを促進する。 ○ 2017年に作成したアフリカに関わるNGOダイレクトリーに掲載された情報のウェブデータベースの情報を更新し、アフリカに関わる個人、NGO同士の連携、国際協力機関・自治体・企業とNGOの関係強化に資する。 ○ 「市民ネットワーク for TICAD」の事務局を引き続き担い、TICADVIIに向けて、アフリカに関わるNGO連携強化のため、アフリカ政策へのアドボカシー活動も進めていく。 ○ 会員を中心とした個人間の交流の場を提供するとともに、アフリカ関係の団体、企業、自治体などとの連携を促進し、ネットワークの拡大に努める。 | 854万円 |
| アフリカ調査・研究事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ アフリカ熱帯林の課題と地球環境問題について、「地球が壊れる前に」上映会およびセミナーの形式を中心に全国各地で啓発活動を行っていく。 ○ 食料安全保障研究会公開セミナー、HFW・JVC・PRIMEとの共催連続公開セミナー「食べものの危機を考える」を開催する。 ○ 他のNGO、FAO日本事務所、横浜市資源循環局ほかと協力して「世界食料デー」月間の取り組みを進める ○ 「FAOの資料を読む学習会」をベースに、食料・農業情報の収集と提供を行わない、AJFウェブサイトで開催・提供していく ○ メールマガジン「グローバル・エイズ・アップデート」発行を通して、世界各地のエイズに関わる最新情報を紹介し、関係者におけるエイズ対策に関する認識の強化、エイズ対策の進展を促す。また、インターンへの指導、交流を通して同分野に関わる次世代の関係者を育成する。 | 66万円 |
| 政策提言事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ アフリカなど国内外のNGOと連携して、国際的な保健に関する政策提言を行い、保健分野の改善に寄与する。具体的には、C20の国際保健ワーキンググループをとりまとめ、C20およびG20へ関係NGOと協力しながら、会合の企画運営、参加呼びかけ、情報発信、関係者間の調整、政治プロセスへの介入等を行う。2019年10月に予定されているグローバルファンド（世界エイズ・結核・マalaria対策基金）の増資プロセスに関与し、日本の積極的な取り組みを促進する。 | 650万円 |

| | | |
|------------|--|--------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ エイズに関わる国際的ネットワークに参加し、日本の関与を高める取り組みを強化する。 ○ 食料・農業に関する政策提言の一環として、モザンビーク・プロサバンナ事業に対するモザンビーク農民組織・市民組織の声を日本に伝え、その声に応える取り組みを進める。 | |
| アフリカ理解促進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会報「アフリカNOW」を定期的に発行する。 ○ 「アフリカひろば」を始めとするアフリカのさまざまな分野への理解を広げるセミナーやイベントを開催する。 ○ ウェブサイトを整備し、アフリカ理解を促すリソース、活動を掲載する。 ○ メールマガジン「AFRICA ON LINE」を定期的に発行する。 ○ グローバルフェスタ2019ほかのイベント参加を通して、アフリカに関心を持つ人のネットワーク拡大を目指す。 ○ アフリカ健康フォーラムを定期的に開催する。 | 25万円 |
| | 事業費合計 | 1815万円 |

3 会の運営に関する事項

事務局家賃、事務局員人件費、事務消耗品費、通信費などに660万円の支出を見込む。